

一般社団法人新潟県臨床検査技師会 平成27年度通常総会議案書

期 日 平成27年 5月30日（土） 15時40分開会
会 場 駅まえオフィス貸会議室 7階 大会議室

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 表彰
5. 資格審査報告
6. 議長選出
7. 議長挨拶
8. 総会役員選出
 - 1) 書記任命
 - 2) 議事録署名人任命
9. 議事
 - 1) 第1号議案 平成26年度事業報告について
 - 2) 第2号議案 平成26年度収支決算書について
 - 3) 第3号議案 平成26年度監査報告について
 - 4) 第4号議案 平成27年度事業計画（案）について
 - 5) 第5号議案 平成27年度収支予算（案）について
 - 6) 第6号議案 支部提出議案について
 - 7) 第7号議案 日臨技定期総会提出議案について
 - 8) 第8号議案 次期役員選出について
 - 9) その他
10. 総会役員解任
11. 議長挨拶
12. 閉会の辞

平成26年度事業報告

平成26年度はこれまでの会務を遂行するとともに、43年ぶりに新潟県で開催された第63回日本医学検査学会の運営を行った。本学会の一般演題数は英語演題31題を含め710題であった。一般会員2,902名、賛助会員494名、非会員27名、学生406名に加え、機器・試薬展示会や共催セミナー関係者約1,700名の方に参加いただいた。また、市民公開講座には1,400名余りの方が訪れ、情報交換会には約800名の参加があった。

本年度も理事が一丸となって努力して参りましたが、至らぬ点が多々ありご迷惑をお掛けしたと思います。しかしながら無事に終えましたことは会員の皆様のご理解とご協力によるものと感謝いたします。

平成26年度の事業の概要を下記の通り報告する。

総務部

- ①平成26年度から一般社団法人に移行したため、定款の確認および各種規定および手順書の見直しを行った。
- ②表彰関係は昨年度通りの事業を行った。

学術部

- ①第63回日本医学検査学会を開催した。
- ②精度管理事業は、新たに日臨技のシステムを使用して事業を行った。
- ③検査研究部門活動は活発に開催され、日臨技助成金の上限である20研修会の申請を行った。

広報部

- ①会誌、ニュース、ホームページがそれぞれの役割を明確にして事業を行った。特にホームページは迅速な対応を行った。

【総務部】

1. 通常総会の開催

平成26年5月18日（日）朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにおいて平成26年度第1回通常総会を開催し、平成25年度事業報告、同決算報告、監査報告の説明があり、また、平成26年度事業計画（案）、収支予算（案）が提案され、特に質疑はなく拍手で承認された。

2. 会務の執行体制

1) 職務分担

平成26年度は役員任期の後期にあたったが、前年同様に学術部、広報部、総務部の3部門に理事を配置し、各部門との連携を図りながら会務を執行した。

2) 事務局体制

事務局業務が非常に多くなっている現状で、阿部事務員の努力により諸会議の準備や日臨技・北日本支部および会員との連絡・調整役を担い、又、JAMTIS運用による会員情報登録および変更作業を迅速に処理し、組織運営上、大変重要な役割を果たしている。

3. 諸会議の開催

- 1) 理事会
第1回平成26年4月12日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
第2回平成26年5月18日（朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター）
第3回平成26年7月26日（新潟県公社総合ビル3F会議室）

- 第4回平成26年10月25日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
- 第5回平成26年12月20日（新潟県公社総合ビル3F会議室）
- 第6回平成27年1月31日（新潟ユニゾンプラザ）
- 第7回平成27年3月14日（済生会新潟第二病院10F会議室B）

2) 常任理事会

定例常任理事会は従来どおり原則として毎月第2土曜日に開催し、平成26年度は3回開催した。

3) 三役会議

急を要する案件については、メール等を利用し協議を行った為、特に三役会議は開催しなかった。

4) 各種委員会の開催

(1) 会誌編集委員会

新臨技会誌（季刊発行）第291号から第294号の編集業務のため、4回開催した。

(2) ホームページ委員会

会員への早急な情報伝達手段としてのホームページを積極的に運用、会員から親しまれるホームページをめざした。

(3) 検査研究部門委員会議

各検査研究分野の活動計画並びに運営等を協議するため2回開催した。

(4) 生涯教育研修委員会

生涯教育委員の業務も定着していることから、理事会や各支部生涯教育委員と連絡をとりながら研修会予定および参加者の登録を行った。

(5) 精度管理委員会

精度管理調査の事業計画、集計処理状況把握、検討会企画の協議のため4回開催した。

(6) 表彰委員会

各種表彰の対象者選考のため1回開催した。

4. 組織対策

1) 入会対策

前年度同様、各支部役員および各施設連絡責任者の協力により入会を勧めてきた。

今後は会員数の多い年代が定年を迎えることから、会員数の減少が懸念される。

本年度の新入会および再入会の会員は62名であった。

なお、本会の正会員総数は1,271名（平成27年3月現在）である。

また、技師連盟入会者（1月～12月の年単位）は平成27年3月現在39口であり、臨床検査を取り巻く環境が厳しくなる中、臨床検査技師の社会的地位向上および今後の業務拡大の為に、更に多くの会員の入会をお願いする必要がある。

2) 各支部との連携強化

各支部ともその地域性を生かした独自の活動が浸透し、年々活発化している。支部総会等に役員を派遣し、連携強化を図った。

5. 地域保健医療活動および公益事業

1) 新潟県臓器移植財団へ賛助会員として参画

2) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力（6月8日）

3) 父の日企画「パパの健康チェック」へ中越支部が共催団体として参画（6月15日）

4) 中越沖地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力（小千谷市7月19・20日）

5) すこやかともしびまつりへ中越支部が共催団体として参画（9月28・29日）

6) 糖尿病を知る集いへ中越支部が共催団体として参画（10月4日）

- 7) ピンクリボンホリデーへ新潟県臨床検査技師会として参画（10月5日）
- 8) 第16回新潟市健康福祉まつりへ新潟支部が共催団体として参画（10月19日）
- 9) 糖尿病を知る集いへ佐渡支部が血糖測定で協力（11月15日）
- 10) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力（十日町市11月15・16日）
- 11) 中越地震エコノミークラス症候群フォローアップ検診に協力（小千谷市12月6・7日）
- 12) 新潟市母子福祉連合会交流会ボランティアに血管年齢測定で協力（新潟市2月11日）

6. 求人情報

日臨技への情報登録とともに、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供した。

7. 災害関係

災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものと確信している災害支援ネットワークの登録者は63名（平成27年3月現在）であり、多くの会員へ賛同と登録をお願いした。

8. 表彰関係（敬称略）

- 1) 第32回篠川至賞（篠川至賞選考委員会を経て平成26年5月18日通常総会にて表彰）

功労部門 永井正樹（下越支部）

学術部門 高野操（新潟支部）

- 2) 平成26年度功労者表彰（平成26年5月18日通常総会にて表彰）

- (1) 永年会員功労者表彰

該当者30名

- (2) 特別功労者表彰

松田和博（新潟支部）

高野操（新潟支部）

- 3) 平成26年度生涯教育履修表彰（平成26年5月18日通常総会にて表彰）

奨励賞 小林清子（新潟大学医歯学総合病院）480点

齋藤修（厚生連新潟医療センター）450点

近藤善仁（厚生連長岡中央総合病院）420点

新人賞 細貝みゆき（新潟市民病院）310点

【学術部】

平成26年度活動報告

平成26年度は5月17日、18日、朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター、ホテル日航新潟、ANA クラウンプラザホテル新潟において第63回日本医学検査学会が開催された。検査研究部門を中心にシンポジウム、セミナー等を企画、運営を行った。一般会員2,902名、賛助会員494名、非会員27名、学生406名に加え、機器・試薬展示会や共催セミナー関係者約1,700名の方にご参加いただき、新潟県の会員の意気を全国に示すことができたと確信する。学会前日開催で恒例となった『行列ができるスキルアップ研修会』においても7つのセミナーと翌日のワークショップに繋がるパネル展示を企画、運営、講師までを実務委員が担当された。当技師会では実技セミナーやアンケートアナライジングシステム等を用い受講者参加型セミナー等、新たな試みに挑戦し626名の方にご参加いただいた。本年度は第63回日本医学検査学会を開催したため新潟県臨床検査学会は開催を翌年度に見送った。検査研究部門、精度管理、生涯教育はつつがなく運営された。

1. 学会

第63回日本医学検査学会を開催に向けての準備、残務処理の為、第90回新潟県臨床検査学会は開催がかなわず、平成27年度に開催する事とした。

2. 検査研究部門

平成26年度は、分野員の交代年度ではなく、昨年度と同様の体制で運営された。組織は6部門、13分野の構成であった。検査研究部門が開催した研修会は、合計22回開催され、参加人数は会員689名、非会員95名、学生7名で合計791名であった。前年度の研修会は21回であり、研修会数としてはほぼ同等であったが、全ての分野で開催することができた。前年度の参加者は、855名であり、今年度は791名であった。参加者数としては、前年度比で64名減となった。

また、5月に当会が担当して第63回日本医学検査学会を新潟市で開催した。学会に関連して5月16日に「行列のできるスキルアップ研修会 Part V」を検査研究部門が中心となって本会主催で開催した。

7分野が担当して7講座を開催したほか、4分野の合同企画で医学検査学会ワークショップに合わせたパネル展示を行った。参加人数は、626人で、全国から多数の参加者を得た。

生体画像分野、一般検査分野、細胞分野、輸血・移植分野は実技実習を積極的に行い、研修レベルを初心者・中堅者別など、細部まで行き届いた形式を設定した。また、輸血・移植分野では、ディスカッション形式やDVD上映による伝達研修会など様々な形式の研修会を開催した。また、細胞分野と一般検査分野は重なる内容において合同研修会を開催した。他団体や学会との共催も多く、他職種と合同での研修会も多く開催された。

実習形式の導入や複数分野との合同企画、積極的なアイデアなどがあり、また、医学検査学会開催の関連で、県外の会員を対象としたスキルアップ研修会を開催するなど活発な活動年度であった。

(1) 検査研究部門の研修会

I . 生物化学分析部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
臨床化学	平成26年 6月28・ 29日	専門 20	38	32 学生 3	<p>【第12回生物試料分析科学会甲信越支部総会】</p> <p>「アミノ酸プロファイリングによるがんリスクスクリーニング」 味の素株式会社 イノベーション研究所 宮野 博 先生</p> <p>「新潟県でのアミノインデックスの運用」 新潟県労働衛生医学協会 三巻 実香 先生</p> <p>【第32回日本臨床化学会甲信越支部総会】</p> <p>「ワークショップ：検査技師の育成」 「R-CPC」 教育講演「アミロイド研究の変遷」 自治医科大学臨床検査医学 教授 山田 俊幸 先生</p> <p>特別講演「老化再生からみた循環器疾患治療」 新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学教授 南野 徹 先生</p> <p>会場：鶴の浜ニューホテル * 日本臨床化学会甲信越支部、生物試料分析科学会甲信越支部新潟支部との共催</p>
	平成27年 3月14日	専門 20	11	8	<p>【第45回日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会新潟県臨床検査技師会生物化学分析部門臨床化学分野合同研修会】</p> <p>「高血圧治療ガイドライン (JSH2014)」 堀内駅前小玉医院 小玉 誠 先生</p> <p>「R-CPC」 出題者：新潟大学大学院医歯学総合研究科総合地域医療学講座 井口清太郎 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 * 日本臨床化学会甲信越支部新潟分科会と共催</p>

免疫血清	平成27年 1月24日	専門 20	21	1	<p>「トロポニン測定の高感度化とその有用性 ロシュ・ダイアグノスティックス（株） LCM 部門 免疫・生化学検査部 循環器・新規マーカーグループ 櫻井みどり 先生</p> <p>「腫瘍マーカー検査って、信頼できるの？」 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス(株) CAI 事業部 Centaur 製品グループ 萩原 貴裕 先生</p> <p>「投与薬剤による検査値の変動について」 積水メディカル（株）検査事業部営業部 カスタマーサポートセンター 市原 文雄 先生</p> <p>会場：済生会新潟第二病院</p>
遺伝子	平成27年 2月28日	専門 20	20	10 学生 1	<p>技術講演「デジタル PCR で広げる臨床研究～QuantStudio® 3D デジタル PCR システムのご紹介～」 ライフテクノロジーズジャパン（株） 大滝 真作 先生</p> <p>教育講演「樹状細胞と腫瘍免疫療法」 新潟大学大学院保健学研究科 高橋 益廣 先生</p> <p>技術講演「Digital PCR の臨床応用の可能性～癌分野におけ る Liquid Biopsy への応用可能性～」 シスメックス（株） 中村 健一 先生</p> <p>会場：新潟大学医学部</p>

II. 生理機能検査部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
生体機能	平成26年 12月6日	専門 20	34	3	<p>【神経生理検査セミナー】</p> <p>「神経内科医が知りたい脳波」 新潟大学地域医療教育センター・ 魚沼基幹病院医療情報・神経内科 特任教授 寺島 健史 先生</p> <p>「小児科医が知りたい脳波所見とは」 国立病院機構西新潟小児科中央病院神経小児科医長 赤坂 紀幸 先生</p> <p>「睡眠時無呼吸症候群と PSG 検査」 国立病院機構西新潟小児科中央病院 臨床検査科 土屋 邦子 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>
生体画像	平成26年 8月30日	専門 20	26	2	<p>【超音波実技セミナー】長岡会場</p> <p>心臓超音波：基本断面の走査法，装置の設定，心機能計測法 など</p> <p>腹部超音波：基本断面の走査法，装置の設定など</p> <p>血管超音波：下肢静脈の標準的検査法</p> <p>会場：立川総合病院</p>
	平成26年 8月31日	専門 20	29	0	<p>【超音波実技セミナー】新潟会場</p> <p>8月30日と同様の内容</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>
	平成27年 1月25日	専門 20	20	0	<p>【超音波検査士対策セミナー 2015】</p> <p>「超音波検査に必要な物理学的基礎知識」</p> <p>東芝メディカルシステムズ営業本部超音波営業部 営業技術担当 浜田 聡明 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>

Ⅲ．形態検査部門

分野	開催日	生涯教育 点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
細胞 一般検査	平成26年 7月26日	専門 20	54	4 学生 3	<p>「反応性尿管上皮細胞の細胞学的特徴」 愛媛県立医療技術大学保健科学部 臨床検査学科 准教授 大崎 博之 先生</p> <p>「BD の製品紹介」 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 ダイアグノスティックシステム事業部 幸野 俊之 先生</p> <p>「尿沈渣で尿路上皮癌を検出するために」 愛媛県立医療技術大学保健科学部 臨床検査学科 准教授 大崎 博之 先生</p> <p>会場：新潟大学医学部保健学科 *新潟県細胞検査士会と共催</p>
細胞	平成26年 10月4日	専門 20	43	0	<p>講演：「体腔液細胞診の見方」 実習：体腔液細胞診標本60症例鏡検 濱川 真治 先生 (公立昭和病院臨床検査科 細胞検査士)</p> <p>会場：新潟大学医学部 *新潟県細胞検査士会と共催</p>
病理	平成26年 11月15日	専門 20	35	8	<p>【第36回新潟病理技術研究会】 「電界攪拌染色装置 R-IHC（通称ラピート）の紹介」 サクラファインテックジャパン（株） 応治比呂美 先生</p> <p>「病理技術っておもしろいよねー特殊染色～抗原賦活化までー」 小田原市立病院 磯崎 勝 先生</p> <p>「適切な診断のための免疫染色」 ライカマイクロシステムズ（株） 中川加奈子 先生</p> <p>「認定病理技師制度について」 名古屋市立大学大学院医学研究科 滝野 寿 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 *新潟病理技術研究会と共催</p>

病理	平成27年 2月7日	基礎 20	23	4	<p>・話題提供</p> <p>「免疫染色における ALK 融合遺伝子陽性肺癌の診断」 ニチレイバイオサイエンス 長嶋 健二 先生</p> <p>「ALK 肺癌のコンパニオン診断とその検査法～FISH 法について～」 アボットジャパン 植田 仁志 先生</p> <p>「最近のがん領域の分子標的薬」 アステラス製薬 竹内 雅博 先生</p> <p>「ATL 治療薬「ポテリジオ®」のコンパニオン診断薬「ポテリジオテスト IHC・FCM」について」 協和メディックス 五阿弥武史 先生</p> <p>・講義</p> <p>「ペプチドを用いた腫瘍標的技術の開発研究」 新潟大学大学院医歯学総合研究科分子細胞病理学分野 教授 近藤 英作 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 *新潟病理技術研究会と共催</p>
一般検査	平成26年 9月6日	専門 20	25	2	<p>【実技研修会（尿沈渣初級者向け）】</p> <p>「その報告一步進んでみませんか？～尿中赤血球形態・尿中細菌・異型細胞編～」</p> <p>尿中赤血球形態に関する講義・実習，尿中細菌に関する講義・実習</p> <p>異型細胞に関する講義・実習，鏡検（基本上皮細胞，円柱，異型細胞等）</p> <p>会場：新潟医療技術専門学校 *新潟支部一般検査研究班との共催</p>
	平成27年 1月17日	専門 20	32	4	<p>【第37回新潟支部一般検査研究班合同研修会】</p> <p>学会報告</p> <p>新潟大学医歯学総合病院検査科 齋藤 温 技師</p> <p>済生会新潟第2病院検査科 小野 篤史 技師</p> <p>「一般検査のここがポイント！」</p> <p>東京女子医大附属病院検査科 横山 貴 技師</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院 *新潟支部一般検査研究班と共催</p>

血液	平成26年 10月18日	専門 20	57	0	<p>「血球分析装置を使用した体腔液細胞数算定自動化のトピックと動向」</p> <p>シスメックス株式会社北関東支店 林 文明 先生</p> <p>「骨髓検査技師試験を受験して」</p> <p>新潟県立がんセンター新潟病院 市川 和美 技師</p> <p>「末梢血・骨髓塗抹標本の観察方法と考え方」</p> <p>獨協医科大学病院臨床検査センター 新保 敬 先生</p> <p>会場：新潟大学医歯学総合病院</p>
----	-----------------	----------	----	---	---

IV. 感染制御部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
微生物	平成26年 9月27日	専門 20	63	2	<p>【これからの微生物検査室を考える】</p> <p>教育講演①</p> <p>「メーカーとして考えるこれからの微生物検査」 講師 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株) マーケティング MM 事業部 田村 真弓 先生</p> <p>教育講演②</p> <p>「VITEK MS 導入により我が微生物検査室はどう変わったか」 講師 東北大学病院 診療技術部 検査部門 勝美 真琴 先生</p> <p>特別講演</p> <p>「菌力アップトレーニング「菌トレ」 ～五感を活かした一発同定力の磨き方～ 講師 東京医科大学 微生物学教授 大楠 清文 先生 会場：新潟大学医学部</p>
公衆衛生	平成26年 12月6日	専門 20	25	9	<p>「EMA - PCR による生菌遺伝子検査法」 タカラバイオ株式会社営業部課長補佐 中筋 愛 先生</p> <p>「薬剤耐性インフルエンザウイルスについて」 国立感染症研究所インフルエンザウイルス 研究センター 第1室主任研究官 高下 恵美 先生</p> <p>会場：コープシティ花園「ガレソン」</p>

V. 移植検査部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
輸血移植	平成26年 7月13日	専門 20	24	1	<p>【第1回 輸血検査実技講習会】</p> <p>〈基礎コース〉 血液型, 不規則抗体検査, クロスマッチを実施し, 凝集の見方, 試験管の振り方等, 初歩的な技術・考え方の習得を目指します。新人や専門に輸血検査をやられていない初心者, 初級レベルの方。</p> <p>〈認定および技能維持コース〉 血液型, 不規則抗体検査, 抗体解離試験, クロスマッチ等を実施し, 総合的に輸血検査の理解を深めます。専門に輸血検査をやられている方や, ある程度の基礎技術を持っている中級者レベル以上の方。</p> <p>会場:新潟大学医歯学総合病院</p>
	平成26年 9月21日	専門 20	27	0	<p>【第2回 輸血検査実技講習会】</p> <p>第1回と同様にて開催 会場:新潟大学医歯学総合病院</p>
	平成26年 12月6日	専門 20	20	0	<p>【輸血研修会】</p> <p>「ケーススタディ(症例)で輸血検査の理解を深めよう!」 グループディスカッション形式での研修会 会場:長岡赤十字病院</p>
	平成27年 2月7日	専門 20	50	2	<p>【輸血テクニカルセミナー2013 DVD上映会】</p> <p>DVD 講演内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 血液型検査のテクニック 関東甲信越ブロック血液センター検査課検査一課 矢部 隆一 先生 2) 不規則抗体検査のテクニック 東邦大学医療センター大森病院輸血部 日高 陽子 先生 3) DAT 陽性時の対応 福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部 川畑 絹代 先生 4) 交差適合試験の方法および注意点について 佐賀大学医学部附属病院検査部 東谷 孝徳 先生 <p>会場:新潟大学医歯学総合病院</p>

VI. 総合管理部門

分野	開催日	生涯教育点数	参加人数		研修会内容
			会員	非会員	
管理運営	平成27年 2月22日	基礎 20	12	3	講演「新たな認証制度とそのねらいと今後の展望」について JA 新潟厚生連新潟医療センター病院 坂西 清 技師 話題提供「臨床検査室の安全管理と医療安全管理者とは」について 長岡西病院 山崎 恒 技師 フリートーク 「資格認定および安全管理等々について」 進行 新潟大学医歯学総合病院 高野 操 技師 会場：まちなかキャンパス長岡

(2) 行列のできるスキルアップ研修会 part V

開催日：平成26年5月16日（第63回医学検査学会前日）

会場： 朱鷺メッセ

分野	講座	生涯教育点数	参加人数		テーマ・内容
			会員	非会員	
生体機能 生体画像	生理検査 A	専門 20	117	2	【認定心電検査技師指定研修会 心電図セミナー2014 ～あらためて見つめ直す心電図検査技術～】 講師：富原 健 先生 帝京大学医学部附属病院 生駒 俊和 先生 新潟医療福祉大学医療技術学部 池主 雅臣 先生 新潟大学医学部保健学科 大沼 秀和 先生 三重大学医学部附属病院
	生理検査 B	専門 20	62	0	【神経伝導検査研修会】 「糖尿病性神経障害における神経伝導検査の標準化にむけて」 講演・ライブデモ・実技講習 講師：馬場 正之 先生 青森県立中央病院 神経内科 高橋 修 先生 立川市リハビリテーション病院 片山 雅史 先生 熊本機能病院 植松 明和 先生 国立国際医療センター 石郷 景子 先生 大垣市民病院 相原理恵子 先生 太田総合病院附属太田西ノ内病院 杉山 邦男 先生 東邦大学医療センター大森病院 木崎 直人 先生 杏林大学附属病院 鈴木 善雄 先生 富永草野病院

一般検査	一般検査	専門 20	95	0	【認定一般検査技師指定研修会 一般検査スキルアップセミナー ～認定試験ピフォーアフター～ 講師：吉沢梨津好 先生 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中 央病院 原 美津夫 先生 駿河台日本大学病院 石山 雅大 先生 弘前市立病院 宿谷 賢一 先生 東京大学医学部附属病院
微生物	微生物検査	専門 20	79	3	【グラム染色】講演・症例検討 講師：西山 宏幸 先生 駿河台日本大学病院 太田 求磨 先生 新潟県立中央病院 内科
輸血・移植	輸血・ 移植検査	専門 20	86	3	【輸血検査スキルアップ講座】初級～中級者向け 講師：松山 雄一 先生 新潟県赤十字血液センター 古俣 妙 先生 新潟県赤十字血液センター 上村 正巳 先生 新潟大学医歯学総合病院
血液	血液検査	専門 20	102	2	【血液細胞形態スキルアップ講座】 血液細胞の着眼と判読について（参加型） Mission I 「実践！類似細胞の鑑別法」 Mission II 「血液疾患の読影カンファレンス」 講師：阿南健一 先生 福岡大学医学部腫瘍血液感染症内科学
臨床化学 免疫・血清	生化学・ 免疫検査	専門 20	69	6	【第51回 POC セミナー】 「災害時、現場で何ができますか＝目の前にある POCT 機 器・試薬を正しく使う自信はありますか＝」 講師：植田 信策 先生 石巻赤十字病院 呼吸器外科 山田 修 先生 岡崎市民病院 倉田 一男 先生 岩手県立千厩病院 岡 尚人 先生 ラジオメーター株式会社
病理 細胞 遺伝子・ 染色体 生体画像	【乳腺検査 パネル展示】 病理：（1）迅速標本の作製と切り出しの実際について SLN の迅速法や手術例の切り出しについて 済生会新潟第二病院での川本法や県立がんセンター新潟病院での OSNA 法について 乳腺の切り出しではポリゴン法（Polygon method）等を閲覧 （2）標本の薄切方法について 一般的に行われている“浮かせ法”ではなく、通称“新潟方式”をビデオ上映 細胞：乳腺穿刺吸引細胞診標本（直接吹付け法、針の洗浄液塗抹法など） 顕微鏡標本 7 症例 標本提示（顕微鏡標本にて） 遺伝子・染色体：HER 2 FISH の検査技術とその結果を提示 病検査材料から実施可能な基本的な遺伝子抽出技術を紹介 生体画像：マンモグラフィで腫瘍が認められた場合のエコー診断の流れを紹介				

3. 精度管理事業

今年度も新潟県臨床検査技師会として第35回平成26年度新潟県臨床検査精度管理調査会を行った。この事業は新潟県から新潟県医師会への委託事業である。技師会としても積極的に当事業に協力し、集計、解析を含めた実務の中心的役割を果たすと共に、臨床検査の精度向上に努めた。

本事業を担当する精度管理委員会は全体会議と臨床化学担当の分科会を含め計4回開催し、実施計画及び配送準備、データ集計、解析を実施した。

今年度も感染症実施項目は微生物検査に技師会が担当する一般菌の1菌種について感受性を実施し、新潟県保健環境科学研究所が担当する2菌種の同定を合わせて実施した。臨床化学は昨年同様27項目で実施した。調査試料は今年度低濃度域に自家製人プール血清を用い、高濃度域には昨年同様市販管理試料を用いた。低濃度域のプール血清において、クレアチニンが低濃度となったことから暫定的に評価基準を2倍の目標値 $\pm 10\%$ とした。人プール血清では概ね反応性の問題は回避できたが、高濃度域は管理試料であるため、反応性の問題は避けて通れず、今年度もHDLコレステロール、LDLコレステロールはメーカー参考値を用いて評価した。なお、ドライケミストリー法についても評価を行った。今年度、試料輸送において問題は特に発生しなかった。また、今年度初めて、HbA1cの調査に市販の管理試料を利用した。さまざまな問題も上がってきていることもあり、次年度は委員会にて熟慮したうえで、今後の方向性を決めていくこととしたい。

集計作業の迅速化、誤登録防止を目的に今年度より、日本臨床衛生検査技師会の精度管理システムを使用したWeb報告を実施した。参加施設からの問い合わせも多少あったが、特に問題なく報告作業は行われたが、施設別報告書の発送に当たり、評価項目が評価されていない。などの問題もあり、施設別報告書の差し替えを各施設にお願いするなど、参加施設に多大な迷惑をかけてしまった。今後は日臨技との連携を密にして、このようなことの無いように、細心の注意をはらって事業を実施していきたい。

精度管理調査事業の内容（実施要項）は以下のとおりである。

1) 臨床化学

測定日：平成26年10月27日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

調査項目：ブドウ糖、中性脂肪、総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、ナトリウム（Na）、カリウム（K）、クロール（CL）、カルシウム、尿素窒素、クレアチニン、尿酸、AST（GOT）、ALT（GPT）、アルカリフォスファ、ターゼ（ALP）、 γ -GT（ γ -GTP）、LD（LDH）、CK、アミラーゼ、コリンエステラーゼ（CHE）、HbA1cの21項目を評価対象として評価

調査項目：総蛋白、アルブミン、血清鉄、C反応性蛋白（CRP）、無機リン、総ビリルビン、Mgは測定のみとし評価は行わず。

サンプル：以下の4種類

（臨床化学用）人プール血清サンプル1、人凍結管理試料2

（HbA1c用）市販管理試料A、B

（ドライケミストリー用）人プール血清DRY I、II

報告締め切り：平成26年11月4日（火）必着。

2) 微生物検査

検査日：平成26年10月27日（月）から28日（火）に県内の中継機関へ薬剤感受性検査試料と同梱したものを郵送又は運搬し、10月29日（水）から31日（金）の間に中継機関で参加施設が試料を受領した。

検査項目：試料中の病原菌の同定（血清型別実施可能な施設は必要に応じて実施）

感受性検査

サンプル：同定検査A、Bの2種類。

感受性検査Cの1種類。

報告締め切り：平成26年11月14日（金）必着。

3) 血液検査

検査日：平成26年10月27日（月）より施設に配布し、到着次第速やかに実施。

検査項目：CBC 5項目（ヘモグロビン、白血球数、血小板数、赤血球数、ヘマトクリット）

サンプル：市販管理血球Cの1種類

報告締め切り：平成26年11月4日（火）必着。

集計概略は総参加施設数153施設、臨床化学施設120施設（内HbA1cは107施設）、微生物検査同定73施設、感受性検査54施設、血液検査140施設であった。

臨床化学検査については、本年度も評価対象項目のすべてのサンプルにおいて評価を行ない各項目での評価基準で評価したが、使用施設数が5未満の測定方法については評価対象外とし、評価は評価A：「基準」を満たし、極めて優れている。評価B：「基準」を満たしているが、改善の余地あり。評価C：「基準」を満たしておらず改善が必要。評価D：「基準」から極めて大きく逸脱し、早急な改善が必要。とし評価A、Bは、従来の評価において○評価に準じ、一定基準を備えていると判断、評価C、Dは、従来の評価において△、×評価に準じ、改善が必要とした。今年度も精度管理の意識向上を目的に施設名を公表する事とした。最終集計結果については新潟県臨床精度管理協議会において検討し臨床検査精度管理調査検討会（報告会）で報告した。参加施設には県知事名の参加証が交付された。

4. 生涯教育

各検査研究班・各支部担当者にご尽力いただき、行事登録および参加者登録を行ってもらった。今年度より日臨技から支給される「生涯教育推進研修会助成金」の交付額の変更があり、1研修会につき定額2万円+参加者1名につき500円を乗じた額となった（1研修会上限5万円、最大20研修会=100万円まで）。関係者の皆様のおかげで申請した20研修会・計875,000円を受け取ることができた。関係者の皆様には重ねて御礼申し上げます。

【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通じて全会員にリアルタイムに情報の提供が出来るよう心がけてき、新臨技ホームページは、会員への情報発信手段として安定した運営であった。新臨技ニュースは、理事会議事要旨、研修会案内および求人情報など新臨技の新しい情報をいち早く会員施設へ提供できた。第63回日本医学検査学会のHPやフェイスブックにつながるバナー掲載は全国の会員から好評であった。

また、HPを利用した災害時支援メーリングリストの広報などに勤めてきたと同時に、HPの広告にある一定の規約（一般社団法人 新潟県臨床検査技師会広告掲載内規）を新たに設け規律あるHPの運営に努めた。

1) 新臨技会誌

〔講義・研究〕の内容は話題性と基礎的内容を主に力を入れてきた。〔研修会報告〕は参加会員の協力得て研修会をより身近に感じ情報提供や新人会員の研鑽の頁とした。〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～奮闘記〕などの掲載で、会員相互の親睦をはかり、誰でも参加できる企画にした。また〔公益活動報告〕を掲載することにより臨床検査技師の啓蒙活動と、多くの会員に参加していただけるような情報ツールとした。〔施設紹介〕では新旧問わず、検査室を紹介し施設情報の共有を図った。年4回 季刊発行（291号から294号まで）

<平成26年度会誌掲載内容>

291号 平成26年4月1日

〔講義〕 ギムザ染色とナフトール AS-D クロロアセテートエステルゼ染色……………渡辺 明朝

〔おしらせ〕 第63回日本検査学会

〔認定技師制度紹介〕

認定臨床微生物検査技師資格試験を受験して……………麻生さくら

〔研修会参加報告〕

日臨技北日本支部生物化学分析部門遺伝子染色体分野研修会……………林 真也

生理機能検査部門生体画像分野研修会に参加して……………渡邊 妙子

形態検査部門病理検査分野研修会に参加して……………渡辺 宏

形態検査部門血液分野研修会に参加して……………椎谷 恵子

血液検査実技研修会に参加して……………宮路 渚

形態部門一般検査分野・新潟支部一般検査分野合同研修会に参加して……………中村 望

下越支部研修会に参加して……………山田 聡子

佐渡支部研修会に参加して……………山本 陽子

感染制御部門疫学・公衆衛生分野研修会に参加して……………山之内清子

形態検査部門細胞分野・細胞診検査士会合同研修会に参加して……………堀 亜矢子

生体機能検査分野・神経生理セミナーに参加して……………坂井 路子

〔施設紹介〕 新潟手の外科研究所病院……………高橋 守利

〔ペンリレー〕……………鈴木 秀幸

〔検査技師として～私の奮闘記～〕……………栗山 美香

齋藤 温

〔会 報〕 平成26年度第1回通常総会議案書

平成25年度第6回_理事会議事録

平成25年度第7回_理事会議事録

平成25年度第8回_理事会議事録

平成25年度2月常任理事会議事録

新入会員紹介

会員消息

技師会日誌

〔行事予定〕

292号 平成26年7月1日

〔講 義〕 輸血検査の基本……………安中真由美

〔研 究〕 時系列コンピュータ解析によるJ波高の定量的評価

(日内変動における自律神経興奮の関わり)……………齋藤 修

〔施設紹介〕 医療法人愛広会新潟リハビリテーション病院……………田中 明美

〔受賞者のことば〕

篠川至賞を受賞して……………永井 正樹

篠川至賞を受賞して……………高野 操

生涯教育新人賞を受賞して……………細貝みゆき

〔第63回日本医学検査学会関連報告〕

行列ができるスキルアップ研修会……………佐藤 卓

ホームページ企画……………近藤 善仁

展示会場企画……………山川 栄一

情報交換会企画	小林 清子
生理部門企画	桑原喜久男
実行委員長	山崎 恒
〔ペンリレー〕	菅井 綾里
〔検査技師として～私の奮闘記～〕	
検査技師として～私の奮闘記～	平野 香織
検査技師として～私の奮闘記～	島田 朋幸
臨床検査技師として今思うこと	菅田 英樹
検査技師，そして母としての日々 ～起きられないのは妖怪のせい？～	川口裕貴恵
〔会 報〕 平成26年度 第1回理事会議事録	
平成26年度 第2回理事会議事録	
25年度 監査報告書	
平成26年度第1回通常総会からアンケート回答	
会員消息	
新臨技会日誌	
〔行事予定〕	
293号 平成26年10月1日	
〔講 義〕 病理検査を支えているモノ	大谷内健二
当直や緊急検査が不安な検査技師のための再確認	古金 吉則
〔研 究〕 心拍変動に伴うQT間隔のダイナミクス	
—トレッドミル運動負荷試験を用いた検討—	鈴木 克弥
〔公益活動参加報告〕 父の日企画 家族で守ろうパパの健康に参加して	渡邊 萌
〔研 究〕 第89回新潟県臨床検査学会抄録	荒木 晴香
〔研修会参加報告〕	
輸血・移植分野 輸血実技講習会に参加して	小林由佳里
細胞分野・一般分野合同研修会に参加して	齋藤 温
佐渡支部研修会に参加して	堤 恭子
新潟支部研修会に参加して	岩淵 南
〔施設紹介〕 独立行政法人国立病院機構西新潟中央病院	土屋 邦子
〔ペンリレー〕	野中 拓
〔検査技師として～私の奮闘記～〕	片桐 尚行
	中村 岬
	隠田えり果
〔会 報〕 平成26年度6月常任理事会議事録	
新入会員紹介	
会員消息	
日臨技日誌	
〔行事予定〕	

294号 平成27年1月1日

〔あいさつ〕 年頭のご挨拶……………渡辺 博昭

〔講義〕 超音波診断装置の基礎……………地挽 隆夫
心筋トロポニン T の高感度化による有用性について……………桜井みどり

〔研修会参加報告〕

輸血・移植分野実技講習会に参加して……………島田 朋幸
感染制御部門微生物分野研修会に参加して……………石井 幸恵
形態検査部門細胞分野・新潟県細胞検査士会合同研修会に参加して……………繁野 美紀
一般検査分野実技研修会に参加して……………中山 卓也
第38回新潟病理技術研究会に参加して……………樋口 忠博
下越支部研修会に参加して……………高澤 駿太
上越支部秋季研修会に参加して……………土屋 誠

〔公益活動参加報告〕

ピンクリボンホリデー2014に参加して……………出口 晶子
第28回糖尿病を知るつどい〜に参加して……………神田 有里
すこやかともしびまつりに参加して……………五十嵐康之
新潟市民健康福祉まつりに参加して……………森田 祐貴

〔施設紹介〕 糸魚川総合病院……………寺島 健

〔ペンリレー〕……………阿部 千帆

〔検査技師として〜私の奮闘記〜〕……………高原 瞳
小林 徹
渡邊 亮太

〔会報〕 平成26年度第3回理事会議事録

新入会員紹介

会員消息

技師会日誌

〔行事予定〕

2) 新臨技ニュース

理事会議事要旨の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載してきた。また掲載情報の正確性・即時性を重要視し、可能な範囲で早く各施設に届くように努めてきた。写真を多く掲載し見やすさをより追求した。発行は理事会終了後の月1回とした。

3) 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは案内・各支部活動・各研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧でき好評である。事務局との連携を密にし、特に学術研究会や支部研修会の予定は、案内を迅速に掲載したことにより県内会員への情報の共有化に努めた。また、北日本支部学会、第64回日本医学検査学会、検体採取に関する日臨技講習会ページをリンクするなど、最新情報をわかりやすく届ける様に努めてきた。

【主要行動報告】

1. 一般社団法人登記完了（4月1日）
2. 新潟医療技術専門学校入学式へ桑原副会長出席（4月4日）
3. 北里大学保健衛生専門学院入学式へ坂西副会長出席（4月9日）
4. 日臨技執行理事会議・日臨技、日輪細第2回共同事業協議会に坂西副会長出席（4月12日）
5. 第15回全国WG（4月12日）
6. 第1回理事会（4月12日）
7. 日臨技執行理事会議・日臨技-日輪細共同事業協議会に坂西副会長出席（4月12日）
8. 第1回表彰委員会、検査研究部門並びに生涯教育会議（4月26日）
9. 日臨技出版委員会に坂西副会長出席（4月26日）
10. 篠川至賞選考委員会開催（5月3日）
11. 日臨技執行理事会議・日臨技臨床検査データ標準化事業全国代表者会議に坂西副会長出席（5月10日）
12. 新潟県臨床検査技師会監査に渡邊会長、桑原副会長、坂西副会長、小柳事務局長、阿部理事立合い（5月13日）
13. 第1回新潟県糖尿病対策推進会議理事会に坂西副会長出席（5月14日）
14. 行列ができるスキルアップセミナー開催（5月16日）
15. 日臨技第1回理事会に坂西副会長出席（5月16日）
16. 第63回日本医学検査学会開催（5月17日～18日）
17. 第2回理事会（5月18日）
18. 平成26年度第1回通常総会開催（5月18日）
19. 平成26年度日臨技総会に坂西副会長出席（5月24日）
20. 都道府県連盟執行委員会（東京都）へ坂西副会長出席（5月24日）
21. 日臨技理事引き継ぎ式に坂西副会長出席（5月25日）
22. 新潟県県民医療推進協議会へ渡邊会長出席（6月7日）
23. 6月常任理事会（6月14日）
24. 新潟県細胞検査士会定例総会へ渡邊会長出席（6月21日）
25. 細胞検査士会新潟支部定期総会に渡邊会長出席（6月22日）
25. 日臨技編集部会超音波技術教本編集部に坂西副会長出席（6月22日）
26. 公益財団法人新潟県健康づくり財団第9回定時評議委員会へ渡邊会長出席（6月24日）
27. 北日本支部幹事会（北海道）へ渡邊会長出席（6月28日）
28. 日臨技教本編集部会（東京都）へ坂西副会長出席（7月11日）
29. 新潟県医療技術協和会懇談会（診療放射線技師会、臨床工学技士会）へ渡邊会長、吉原副会長、桑原副会長、小柳事務局長出席（7月11日）
30. 日臨技教本シリーズ チーム医療教本編集部に坂西副会長出席（7月12日）
31. 日臨技教本シリーズ 輸血教本編集部に坂西副会長出席（7月21日）
32. 第3回理事会（7月26日）
33. 新潟県・新潟市精度管理専門委員会へ坂西副会長出席（7月31日）
34. 第1回精度管理委員会開催（7月31日）
35. 第24回新潟糖尿病スタッフセミナーへ坂西副会長出席（8月31日）
36. 検査研究部門委員会開催（9月7日）
37. 第2回精度管理委員会開催（9月11日）
38. 第63回日本医学検査学会検証及び報告会（9月13日）

39. 第89回新潟県臨床検査センター協議会総会へ坂西副会長出席（9月20日）
40. 第3回精度管理委員会開催（10月2日）
41. 第31回がん征圧新潟県大会へ桑原副会長出席（10月3日）
42. 形態検査部門細胞分野・新潟県細胞検査士合同研修会に渡邊会長出席（10月4日）
43. ピンクリボンホリデー2014にブース展示で参画（10月5日）
44. 新潟県医師会設立記念大会へ渡邊会長出席（10月11日）
45. 新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会循環器等検診部会へ渡邊会長出席（10月17日）
46. 第4回精度管理委員会開催（10月22日）
47. 地域ニューリーダー育成講習会に坂西副会長参加（10月25～27日）
48. 第4回理事会（10月25日）
49. 新潟県精度管理委員会 試料梱包・発送作業（10月26日）
50. 第3回北日本支部学会学術部会議へ渡邊会長出席（11月21日）
51. 第3回北日本支部学会へ渡邊会長，桑原副会長，小柳事務局長視察（11月22～23日）
52. 新潟県精度管理専門委員会 立ち入り調査（佐渡）に坂西副会長出席（11月25日）
53. 新潟県精度管理調査資料 値づけ及びデータ検討（11月27日）
54. 新潟県精度管理専門委員会 立ち入り調査（長岡）に坂西副会長出席（11月28日）
55. 検査研究部門会議（11月29日）
56. 11月常任理事会（11月29日）
57. 日臨技出版WG（東京都）会議に坂西副会長出席（12月19日）
58. 第7回精度管理委員会（12月20日）
59. 第5回理事会（12月20日）
60. 関連団体への新年挨拶回りに渡邊会長，吉原副会長，小柳事務局長出席（1月20日）
61. 日臨技情勢報告会・賀詞交歓会（東京都）に渡邊会長，坂西副会長出席（1月23日）
62. 全国幹事連絡会議（東京都）に渡邊会長，坂西副会長出席（1月24日）
63. 平成26年度第2回北日本支部幹事会（東京都）に渡邊会長出席（1月24日）
64. 日臨技連盟常任執行理事会議（東京都）に坂西副会長出席（1月24日）
65. 検体採取講演会（1月31日）
66. 第6回理事会（1月31日）
67. 第2回新潟県精度管理協議会に坂西副会長，齋藤功英理事が出席（2月3日）
68. 高澤邦輔名誉会員のお通夜に小柳事務局長，松田監事が参列（2月9日）
69. 2月常任理事会（2月14日）
70. JIMTEF 災害医療研修に講師として坂西副会長出席（日臨技）（2月14日）
71. 中村道夫技師（中越支部）がご逝去（2月20日）
72. 上越支部総会に吉原副会長が出席（2月21日）
73. 新潟支部総会に坂西副会長が出席（2月21日）
74. 中村道夫技師宅に桑原副会長が弔問（2月28日）
75. 中越支部総会に桑原副会長が出席（2月28日）
76. 下越支部総会に渡邊会長が出席（3月7日）
77. 佐渡支部総会に桑原副会長が出席（3月7日）
78. 平成26年度新潟県臨床検査精度管理報告会に坂西副会長・齋藤（功）理事出席（3月10日）
79. 新潟医療技術専門学校卒業式に渡邊会長出席（3月11日）
80. 新潟医療福祉大学卒業式に桑原副会長出席（3月11日）

81. 新潟県健康づくり財団第10回臨時評議会へ渡邊会長出席（3月13日）
82. 第90回新潟県臨床検査センター協議会へ渡邊会長出席（3月14日）
83. 第7回理事会（3月14日）
84. 大災害に対する多職種協働推進委員会へ坂西副会長出席（3月15日）
85. 第7回新潟県救急搬送・受入協議会に松永理事出席（3月16日）
86. 北里大学保健衛生専門学院卒業式に坂西副会長が出席（3月18日）
87. 新潟大学医学部保健学科卒業・修了式典に桑原副会長が出席（3月23日）
88. 検査説明相談ができる臨床検査技師育成講習会開催（3月28日～29日）

平成26年度収支決算報告

平成26年度収支決算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
受取会費			8,175,000	8,349,500	△ 174,500	
	正会員会費		6,875,000	7,089,500	△ 214,500	1289名
	賛助会員会費		1,300,000	1,260,000	40,000	63社
事業収益			4,040,000	4,967,357	△ 927,357	
	参加費収入		1,900,000	3,040,550	△ 1,140,550	行列研修会, 検査研究部門
	会誌広告収入		640,000	520,000	120,000	会誌広告料 (13社)
	助成金収入		1,500,000	1,406,807	93,193	日臨技, 県医師会
雑収益			805,000	7,521,427	△ 6,716,427	
	預金利息収入		5,000	3,430	1,570	
	協賛金収入		800,000	7,517,997	△ 6,717,997	医学検査学会積立金残金
経常収益計	A		13,020,000	20,838,284	△ 7,818,284	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計	B		13,020,000	20,838,284	△ 7,818,284	

支出の部

大科目	中科目	小科目	予 算 額	決 算 額	差 異	摘 要
事業費			10,820,000	9,557,731	1,262,269	
	検査学会研修費		6,020,000	4,910,161	1,109,839	
		学 会 費	2,000,000	2,489,275	△ 489,275	行列研修会
		運 営 費	1,400,000	646,635	753,365	検体採取, 検査説明研修会
		学 術 部 活 動 費	2,500,000	1,648,328	851,672	研究部門活動費
		学 術 雑 費	120,000	125,923	△ 5,923	源泉徴収税等
		負 担 金	0	0	0	東北技師会負担金
	臨床検査精度保証費		400,000	908,302	△ 508,302	新潟県精度管理事業等
	広報費		3,550,000	2,855,820	694,180	
		会 誌 発 行 費	2,300,000	1,903,595	396,405	会誌4号
		広 報 編 集 費	650,000	386,708	263,292	広報委員会・HP維持管理費
		組 織 公 報 費	400,000	551,657	△ 151,657	各支部公益事業負担
		災 害 対 策 費	200,000	13,860	186,140	
	総会費		250,000	381,558	△ 131,558	
		準 備 費	150,000	291,918	△ 141,918	登記費用等
		生涯教育表彰事業費	100,000	89,640	10,360	賞状作成費等
	組織強化費	支 部 強 化 費	600,000	501,890	98,110	各支部助成金
管理費			5,280,000	4,962,642	317,358	
	事務費		2,550,000	2,584,783	△ 34,783	
		備 品 費	200,000	19,093	180,907	ハンコ等備品
		消 耗 品 費	100,000	115,885	△ 15,885	文房具, 封筒
		印 刷 費	450,000	708,166	△ 258,166	各種案内等
		通 信 費	500,000	637,729	△ 137,729	案内発送
		交 通 費	350,000	200,987	149,013	日臨技, 北日本支部会議
		渉 外 対 策 費	300,000	263,195	36,805	関連団体, 支部対策
		給 料 手 当	650,000	639,728	10,272	事務職員
	会議費	旅 費	800,000	971,860	△ 171,860	理事会旅費
	事務所費		1,750,000	1,318,267	431,733	
		維 持 管 理 費	1,600,000	1,215,643	384,357	賃貸料, 電気代
		電 話 費	120,000	95,526	24,474	光回線, プロバイダー
		事 務 所 雑 費	30,000	7,098	22,902	
	雑費		180,000	87,732	92,268	
		交 際 費	150,000	87,732	62,268	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	0	30,000	
特定預金支出	篠川至賞引当金		1,000,000	5,000,843	△ 4,000,843	
予備費			820,000	0	820,000	
当期支出合計	C		17,920,000	19,521,216	△ 1,601,216	
当期収支差額	A - C		△ 4,900,000	1,317,068	△ 6,217,068	
次期繰越収支差額	B - C		△ 4,900,000	1,317,068	△ 6,217,068	

総合財産目録

平成27年3月31日現在

科 目	金 額	
I, 資産の部		
1, 流動資産		
現金	857,430	
普通預金		
第四銀行臨港支店	5,995,782	
ゆうちょ銀行	44,937	
流動資産合計		6,898,149
2, 固定資産		
第四銀行臨港支店(定期)	10,000,000	
北越銀行県庁支店(定期)	4,097,179	
ゆうちょ銀行(定額5口)	5,268,000	
ゆうちょ銀行(定額3口)	6,101,000	
ゆうちょ銀行(定額3口)	1,724,000	
固定資産合計		27,190,179
資産合計		34,088,328
II, 負債の部		
1, 流動負債		0
2, 固定負債		0
負債合計		0
正味財産		34,088,328

1. 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科 目	金 額	
I, 増加の部		
1, 資産増加額		
篠川至賞引当預金	5,000,843	
当期収支差額	1,317,068	
資産増加額合計		6,317,911
2, 負債減少額		0
増加額合計		6,317,911
II, 減少の部		
1, 資産減少額		
公益目的支出額	(3,706,926)	
2, 負債増加額		0
減少額合計		(3,706,926)
当期正味財産増加額		6,317,911
前期繰越正味財産額		27,770,417
期末正味財産合計額		34,088,328

2. 貸借対照表 平成27年3月31日現在

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	1,317,068	
公益目的支出財産	580,238	
篠川至賞引当金	5,000,843	
流 動 資 産 合 計		6,898,149
2. 固定資産		
公益目的支出財産	27,190,179	
固 定 資 産 合 計		27,190,179
資 産 合 計		34,088,328
II. 負債の部		
1. 流動負債		0
2. 固定負債		0
負 債 合 計		0
III. 正味財産の部		
正味財産		34,088,328
(うち当期正味財産増加額)		(6,317,911)
負債及び正味財産合計		34,088,328

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

- ① 資産の評価基準及び評価方法について
 - ・棚卸資産は、最終仕入原価法による原価法。
 - ・投資有価証券は、異動平均法による原価法。
- ② 固定資産の減価償却について
 - ・有形固定資産の減価償却は定率法により行う。
- ③ 引当金の計上基準について
 - ・貸倒引当金、賞与引当金は、法人税法の規定に基づく繰入限度相当額を計上する。
 - ・退職給与引当金は、役員及び職員の退職金支給に備え、退職金期末要支給額を計上する。
- ④ 資金の範囲について
 - ・資金の範囲には、現金預金、未収金、未収会費、仮払金、未払金、仮受金を含めている。
 なお、前期末及び当期末残高は下記4のとおりである。

- 2 基本財産は所有していない。
- 3 有形固定資産は所有していない。
- 4 未収金等及び未払金等は発生していない。
- 5 担保に供している資産並びに支払を保証している債務はない。
- 6 表示の金額は、円単位で表示している。

【収支決算の事業別区分経理の内訳表】

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

科目	実施事業等会計					その他会計				法人会計	内部取引消去	合計
	検査学会 研修費	臨床検査 精度保証費	広報費	共通	小計	総会費	その他	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1)経常収益												
受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,349,500	0	8,349,500
正会員会費					0				0	7,089,500		7,089,500
賛助会員会費					0				0	1,260,000		1,260,000
事業収益	3,040,550	0	520,000	0	3,560,550	0	0	0	0	0	0	3,560,550
参加費収入	3,040,550				3,040,550				0	0		3,040,550
会誌広告収入			520,000		520,000				0	0		520,000
受取補助金等	1,206,807	200,000	0	0	1,406,807	0	0	0	0	0	0	1,406,807
助成金収入	1,206,807	200,000			1,406,807				0	0		1,406,807
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,521,427	0	7,521,427
預金利息収入					0				0	3,430		3,430
協賛金収入					0				0	7,517,997		7,517,997
経常収益計	4,247,357	200,000	520,000	0	4,967,357	0	0	0	0	15,870,927	0	20,838,284
(2)経常費用												
事業費	4,910,161	908,302	2,855,820	0	8,674,283	381,558	501,890	0	883,448		0	9,557,731
学会費	2,489,275				2,489,275				0			2,489,275
運営費	646,635				646,635							646,635
学術部活動費	1,648,328				1,648,328				0			1,648,328
学術雑費	125,923				125,923				0			125,923
負担金	0				0				0			0
臨床検査精度保証費		908,302			908,302				0			908,302
会誌発行費			1,903,595		1,903,595				0			1,903,595
広報編集費			386,708		386,708				0			386,708
組織公報費			551,657		551,657				0			551,657
災害対策費			13,860		13,860				0			13,860
準備費					0	291,918			291,918			291,918
生涯教育表彰事業費					0	89,640			89,640			89,640
組織強化費					0		501,890		501,890			501,890
管理費										9,963,485	0	9,963,485
備品費										19,093		19,093
消耗品費										115,885		115,885
印刷費										708,166		708,166
通信費										637,729		637,729
交通費										200,987		200,987
渉外対策費										263,195		263,195
給料手当										639,728		639,728
会議旅費										971,860		971,860
事務所維持管理費										1,215,643		1,215,643
電話費										95,526		95,526
事務所雑費										7,098		7,098
交際費										87,732		87,732
雑費										0		0

特定預金支出											5,000,843		5,000,843
予備費											0		0
経常費用計	4,910,161	908,302	2,855,820	0	8,674,283	381,558	501,890	0	883,448	9,963,485	0	19,521,216	
評価損益等調整前 当期経常増減額	△ 662,804	△ 708,302	△ 2,335,820	0	△ 3,706,926	△ 381,558	△ 501,890	0	△ 883,448	5,907,442	0	1,317,068	
基本財産評価損益等					0				0			0	
特定資産評価損益等					0				0			0	
投資有価証券評価 損益等					0				0			0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	△ 662,804	△ 708,302	△ 2,335,820	0	△ 3,706,926	△ 381,558	△ 501,890	0	△ 883,448	5,907,442	0	1,317,068	
2. 経常外増減の部													
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額					0				0			0	
当期一般正味財産 増減額	△ 662,804	△ 708,302	△ 2,335,820	0	△ 3,706,926	△ 381,558	△ 501,890	0	△ 883,448	5,907,442	0	1,317,068	
一般正味財産期首残高					0				0	27,770,417		27,770,417	
一般正味財産期末残高	△ 662,804	△ 708,302	△ 2,335,820	0	△ 3,706,926	△ 381,558	△ 501,890	0	△ 883,448	33,677,859	0	29,087,485	
II 指定正味財産増減の部													
III 正味財産期末残高	△ 662,804	△ 708,302	△ 2,335,820	0	△ 3,706,926	△ 381,558	△ 501,890	0	△ 883,448	33,677,859	0	29,087,485	

【上越支部】

支部研修会

1) 秋季研修会

第103回上越支部研修会 (生涯教育認定 専門20 参加会員数48名)

日 時 平成26年9月27日(土)

会 場 新潟県教職員互助会館 高陽荘

〈一般演題〉

- ・「腹部超音波による胃瘻後患者の上部消化管運動機能の検討」

厚生連上越総合病院 西澤 佳代

- ・「心臓リハビリテーションでの臨床検査技師の役割」

厚生連糸魚川総合病院 寺島 健

- ・「尿細胞診陽性例の検討」

県立中央病院 林 真也

- ・「ATBF 1 免疫染色の条件設定で痛感した抗原賦活法選択の重要性」

新潟労災病院 藤縄 勇治

〈特別講演〉

- ・「輸血検査の基礎～クロスマッチ・不規則抗体検査について～」

新潟県赤十字血液センター 古俣 妙 先生

2) 春季研修会

第104回上越支部研修会 (生涯教育認定 専門20 参加会員数48名)

日 時 平成27年2月21日(土)

会 場 新潟県教職員互助会館 高陽荘

〈特別講演〉

講演1 「腫瘍マーカーの基礎と各項目の臨床的有用性」

講師：富士レビオ(株) 学術サービス部 福田雅之助 先生

講演2 「ミトコンドリアCKを阻害したCK-MB測定試薬の有用性」

講師：株式会社シノテスト 甲信越支店

アシスタントエリアマネージャー 塚本 和範 先生

講演3 「尿沈渣検査で得られる成分について」

講師：東洋紡株式会社 藤本 聖人 先生

3) 検体検査研究班 (生涯教育認定 専門20 参加会員数45名)

日 時 平成26年12月9日(火)

会 場 新潟県立中央病院

〈演題〉

- ・「救急検査認定技師について」

新潟県立中央病院 高橋 政江 技師

- ・「救急現場での血液ガスデータの読み方」

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

小笠原 剛 先生

4) 形態検査研究班 (生涯教育認定 専門20 参加会員数31名)

日 時 平成26年10月22日(水)

会 場 新潟労災病院会議室

〈演題〉

「苦手解消！基礎からわかる血液凝固（遭遇する可能性のある異常値を理解する）」

積水メディカル株式会社カスタマーサポートセンター

学術東日本グループ

須長 宏行 先生

5) 生理検査研究班（生涯教育認定 専門20 参加会員数25名）

日 時 平成27年1月14日（水）

会 場 県立中央病院

〈演題〉

「精密肺機能検査の測定原理、測定手技、データの解釈と最近のトピックス」

フクダ電子株式会社

仁田原 武 先生

6) 地域保健活動

i 第99回新潟動脈硬化性疾患研究会

日 時 平成26年7月28日（月）

会 場 ロワジールホテル

ii 第49回上越糖尿病内分泌研究会

日 時 平成26年11月7日（金）

会 場 上越医師会館

iii 第36回上越循環器談話会

日 時 平成26年11月27日（木）

会 場 やすね

7) 通常総会（生涯教育認定 基礎30 参加会員数43名）

日 時 平成27年2月21日（土）

会 場 高陽荘

内 容 平成26年度活動報告および会計報告

平成27年度事業計画（案）および予算（案）

平成27・28年度役員についての審議。

支部理事会

2014年（平成26年）

4月17日（木） 定例役員会

5月22日（木） 定例役員会（研究班班長含む）

6月19日（木） 定例役員会

7月24日（木） 定例役員会

8月27日（水） 定例役員会

9月16日（火） 定例役員会

10月16日（木） 定例役員会

11月20日（木） 定例役員会

2015年（平成27年）

1月29日（木） 定例役員会

2月10日（火） 定例役員会

*計10回の理事会を開催

【中越支部】

《学術》

1) 平成26年度中越支部講演会 [生涯教育認定 基礎20 参加38名]

平成26年2月22日(土) 14:00~16:15 立川総合病院 多目的施設 きぼう 3F 講堂

講演1 「技師会 info」

講師 立川総合病院 検査科 石田 真一

講演2 「船医体験記」

講師 ながおか医療生活協同組合 生協こどもクリニック 磯部 賢論

2) ふれあい研修会 [生涯教育認定 基礎20 参加83名]

平成26年10月18日(土) 13:00~17:00 まちなかキャンパス長岡 5F 交流ルーム

講演1 「検査説明のできる臨床検査技師とは(序)」

講師 厚生連新潟医療センター 検査科 坂西 清

済生会三条病院 桑原喜久男

講演2 「モンスターペイシェント対策~検査説明時に必要な対策~」

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社

キアアカウントグループ 松尾 久昭

《学術支援事業》

平成26年度は、本事業に申請する研修会は、ありませんでした。

《組織》

1) 平成26年度中越支部通常総会 [生涯教育 基礎30 参加37名]

平成26年2月22日(土) 16:30~17:30 立川メディカルセンター多目的施設きぼう 3F 講堂

議長 宮澤 裕司 技師(長岡西病院)

議事 ①平成25年度事業・決算・監査報告

②平成26年度事業計画・予算案提案

以上の議案について審議され、原案通り承認された。

2) パパの健康チェック [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師13名]

平成26年6月15日(日) 11:00~15:30 リバーサイド千秋

主催:ヘルシープラン21実行委員会・長岡市福祉保健部健康課

会場来場者に血糖測定及びCO測定……130名

3) 中越支部フォーラム

本年は、日本医学検査学会が新潟県で行われたため、開催せず。

4) “すこやかともしびまつり 2014” [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師28名]

平成26年9月28日(土)・29日(日) 両日 10:00~16:00

アオーレ長岡 一般市民来場者 16,500名

主催:長岡市

肺年齢測定……900名

- 5) 糖尿病を知るつどい [生涯教育 基礎20 参加ボランティア技師14名]
平成26年10月4日(土) 12:00~15:30 長岡リリックホール(シアター)
主催:長岡市医師会
来場者 331名
来場者の血糖値測定……150名

《平成26年度会議録》

- 第1回理事会 平成26年4月24日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:理事担当職務,担当病院,連絡網の確認
年間事業,役割決定・支部フォーラムについて
「父の日企画」について,他
- 第2回理事会 平成26年5月29日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:支部フォーラム開催について,内容,担当,役割分担について
「父の日企画」について,ふれあい研修会について,他
- 第3回理事会 平成26年7月3日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:「父の日企画」について,ふれあい研修会・支部研究会について
すこやかともしびまつり2014・糖尿病をしるつどいについて,他
- 第4回理事会 平成26年9月18日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:ふれあい研修会・支部研究会について
すこやかともしびまつり2014・糖尿病をしるつどいについて,他
- 第5回理事会 平成26年10月23日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:すこやかともしびまつり2014について
糖尿病を知るつどいについて
ふれあい研修会・支部研究会について
平成27年度中越支部総会,中越支部講演会について,他
- 第6回理事会 平成26年11月20日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:平成27年度中越支部総会,中越支部講演会について
篠川至賞選出について,他
- 第7回理事会 平成27年1月10日(土) 14:30~ 立川総合病院講義室
議題:平成27年度中越支部総会,中越支部講演会について
篠川至賞選出について,他
- 第8回理事会 平成27年2月19日(木) 18:30~ 立川総合病院会議室
議題:平成27年中越支部総会,中越支部講演会について
篠川至賞選出について,他

【下越支部】

〈研修会等〉

(1) 第1回支部研修会

日時:平成26年8月30日(土) 14:00~16:30

場所:下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内容:「今さら聞けない検査の基本2014」

①輸血検査部門 講師 新潟県赤十字血液センター 松山 雄一 技師

②細菌検査部門 講師 日本歯科大学医科病院 菅原 芳秋 技師

③生理検査部門 講師 新潟県立新発田病院 筑波 聡 技師

参加者：48名（会員30名，学生11名，非会員7名）

生涯教育認定 専門20点

（2）第2回支部研修会

日 時：平成26年12月13日（土）14：00～16：30

場 所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内 容：「検査説明のできる臨床検査技師とは（序）」

「生理検査室ではこんな事をしています ～色々な症例を経験して～」

講師 新潟県済生会三条病院 桑原喜久男 技師

参加者：49名（会員29名，学生16名，非会員4名）

生涯教育認定 基礎20点

（3）第3回支部研修会および総会

日 時：平成27年3月7日（土）

場 所：下越総合健康開発センター 2階 大講堂

内 容：「誰でもマスターできるコミュニケーションスキル」～基礎編～

講師 新潟県立坂町病院 斎藤 大造 技師長

参加者：28名（会員25名，非会員3名）

生涯教育認定 基礎20点

内 容：「下越支部通常総会」

参加者：19名 生涯教育認定 基礎30点

〈下越支部理事会〉

今年度は、支部研修会打合せ等で 6回開催した。

第1回：4月17日

第2回：6月19日

第3回：8月21日

第4回：10月9日

第5回：11月13日

第6回：1月15日

【佐渡支部】

〈活動内容〉

1) 研修会（専門-20）

日時 平成26年5月28日（水）18：30～（受付18：00～）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 「乳癌の診断と治療について～非浸潤性乳癌の画像所見を中心に～」

講師 佐渡総合病院外科部長 親松 学 先生

座長 佐渡総合病院 中川 友也

- 2) 糖尿病を知る集いに支部として協力（支部会員6名参加）
 日時 平成26年6月8日（日）8：45～
 内容 血糖測定，参加者とクイズ，体操等
- 3) 研修会（専門-20）
 日時 平成26年7月5日（土）14：00～（受付13：30～）
 会場 ファミリーオ相川
 内容 1. 「血小板指数 MPV，PDW の有用性」
 講師 アボットジャパン株式会社 関東第二支店 高山 陽介 先生
 2. 「オカルト HBV 感染と HBc 抗体」
 講師 アボットジャパン株式会社 マーケティング部 庄司 清文 先生
 座長 佐渡総合病院 笠井恵美子
 3. 「腫瘍マーカーの虚々実々」
 講師 アボットジャパン株式会社 学術情報室 青木 和雄 先生
 座長 佐渡総合病院 中川 友也
- 4) 糖尿病を知る集いに支部として協力（支部会員4名参加）
 日時 平成26年11月15日（土）14：00～
 内容 血糖測定，参加者とクイズ，体操等
- 5) 研修会（専門-20）
 日時 平成26年12月6日（土）14：00～（受付13：30～）
 会場 佐渡総合病院 講堂
 内容 1. 「日当直時間帯における凝固検査の基本」
 講師 LSI メディエンス 馬場 光弘 先生
 座長 佐渡総合病院 笠井恵美子
 2. 一般演題
 ① 「フェリチン測定試薬「FERNX」の検討」
 佐渡総合病院 遠藤 恭平
 ② 「ジゴキシシキット ナノピア TDM ジゴキシシに非特異的な反応を示した一症例」
 佐渡総合病院 林 春紀
 ③ 「血液検査の精度保証について（パート2）」
 新潟県労働衛生医学協会 佐渡検診センター 木村真樹子
 内田万千代
 ④ 「当院における過去5年間のESBL産生菌の検出状況について」
 佐渡総合病院 小宮山謙一
 ⑤ 「簡易偏光装置を用いた細胞観察とその有用性について」
 ⑥ 「子宮内膜細胞のLBC original 標本作製法の検討」
 佐渡総合病院 竹日 健太
 ⑦ 「当院における新生児聴覚スクリーニング検査について」
 佐渡総合病院 堤 恭子
 座長 ①～③新潟県労働衛生医学協会佐渡検診センター 仲村 友絵
 ④～⑦佐渡総合病院 中川 友也
- 6) 支部総会 13：30～（受付13：00～）
 日時 平成26年3月7日（土）

会場 佐渡総合病院 講堂

内容 1. 佐渡支部研修会 (専門-20)

① 「健やかな心と体のための自分メンテナンス」

講師 Yoga & Pilates BAMBOO ピラティスインストラクター 福嶋 由香 先生

座長 佐渡総合病院 仲村 友絵

② 輸血検査コントロールサーベイ報告

演者 佐渡総合病院 笠井恵美子 技師

③ 講演「輸血検査における抗グロブリン法と輸血検査の精度管理」

講師 オーツ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社

イムノヘマトロジー事業部長 古杉 光明 先生

座長 佐渡総合病院 笠井恵美子

2. 平成26年度佐渡支部総会 (基礎-30)

〈佐渡支部役員会〉

第1回 4/24 (木) 佐渡総合病院

第2回 7/5 (土) ファミリーオ相川

第3回 9/17 (水) 佐渡総合病院

第4回 1/15 (木) 佐渡総合病院

計4回開催

【新潟支部】

【平成25年度第2回新潟支部研修会】2014.02.15

参加人数：58人 (会員58人, 学生0人, 非会員0人)

演題：輸血の基礎～日当直者に向けて～

安中真由美 新潟県立がんセンター新潟病院

太るも痩せるも食事が基本

久志田順子 新潟県立がんセンター新潟病院

【平成26年度新潟支部通常総会】2014.02.15

参加人数：39人 (会員39人, 学生0人, 非会員0人)

【平成25年度第2回新潟支部臨床科学研究班研修会】2014.03.15

参加人数：19人 (会員19人, 学生0人, 非会員2人)

演題：バリテーションについて

佐々木 智 和光純薬工業株式会社

異常値反応検体の事例

遠藤 美香 和光純薬工業株式会社

【第36回一般検査研究会】2014.04.17

参加人数：20人 (会員17人, 学生0人, 非会員3人)

演題：スライドカンファレンス

白川千恵子 新潟医療技術専門学校

尿検体からのグラム染色

千味 和宏 済生会新潟第二病院

【平成26年度第一回新潟支部研修会】2014.07.19

参加人数：63人（会員61人，学生0人，非会員2人）

演題：当直や緊急検査が不安な検査技師の為の再確認

臨床化学部門 山形 悟史 株式会社臨床検査センター
血液部門 古金 吉則 済生会新潟第二病院
一般検査部門 河野 良平 新潟勤労者医療協会 下越病院
細菌部門 本間 康夫 信楽園病院
病理部門 大谷内健二 新潟大学大学院医歯学総合研究科
細胞機能講座分子細胞病理学分野
生理部門 諸橋 学 独立行政法人労働者健康福祉機構燕労災病院

【第16回新潟市民健康福祉まつり】2014.10.19

参加人数：13人（会員13人，学生0人，非会員0人）

【第58回新潟支部血液研究会】2014.11.14

参加人数：17人（会員15人，学生0人，非会員2人）

演題：「血栓症と血小板指数の有用性」について

白神 健二 アボットジャパン株式会社

【第36回新潟病理技術研究会】2014.11.15（新臨技病理研究班との併催）

参加人数：43人（会員35人，学生0人，非会員8人）

【平成26年度新潟支部臨床化学研究班研修会】2014.12.13

参加人数：25人（会員22人，学生0人，非会員3人）

演題：自動分析装置の原理について

市川 慈 日立ハイテクノロジーズ

血糖・HbA1c検査について

蛸名 秀峰 アークレイマーケティング株式会社

【新潟県一般検査分野・新潟支部第37回一般検査合同研究会】2015.01.17（新臨技一般分野研究班との併催）

参加人数：36人（会員32人，学生0人，非会員4人）

演題：研修会報告1

斎藤 温 新潟大学医歯学総合病院 診療支援部臨床検査室

研修会報告2

小野 篤史 済生会新潟第二病院

腎疾患と検査データの考え方

横山 貴 東京女子医科大学病院

【第59回新潟支部血液研究会】2015.02.12

参加人数：23人（会員22人，学生0人，非会員1人）

演題：「白血病と造血幹細胞移植」について～移植医療を中心に～

小堺 貴司 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液内科

【平成26年度第二回新潟支部研修会】2015.02.21

参加人数：51人（会員49人，学生0人，非会員2人）

演題1：『説明のできる検査技師とは』

（一社）新潟県臨床検査技師会 桑原喜久男 副会長

演題2：『臨床検査技師の診療の補助としての検体採取（法律の一部改正について）』

（一社）新潟県臨床検査技師会 坂西 清 副会長

2. 総会及び幹事会

- 1) 支部定期総会・第1回新潟支部幹事会 平成26年2月15日(土) 新潟大学医歯学総合病院12階大会議室
- 2) 第2回新潟支部幹事会 平成26年3月19日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 3) 第3回新潟支部幹事会 平成26年4月23日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 4) 第4回新潟支部幹事会 平成26年5月28日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 5) 第5回新潟支部幹事会 平成26年6月18日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 6) 第6回新潟支部幹事会 平成26年7月16日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 7) 第7回新潟支部幹事会 平成26年9月17日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 8) 第8回新潟支部幹事会 平成26年10月15日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 9) 第9回新潟支部幹事会 平成26年11月19日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 10) 第10回新潟支部幹事会 平成26年12月17日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
予定されていた上記幹事会は天候不良の為、当日、中止決定。
- 11) 第11回新潟支部幹事会 平成27年1月21日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所
- 12) 第12回新潟支部幹事会 平成27年2月18日(水) 18:30~ 新潟県臨床検査技師会事務所

平成27年度事業計画（案）

平成27年度は基本的には事業をそのまま引き継ぐが、役員改選の年にあたるため各種手順書を基にとどこおりなく会務を遂行したい。

新規または重要な事業を下記の通り計画する。

【総務部】

- ①一般社団法人移行に伴っての問題点を検証する。
- ②新しい規定および手順書の整備を行う。

【学術部】

- ①平成28年度に新潟で開催される第5回日臨技北日本支部学会の組織づくりを行う。
- ②日臨技の検査研究部門に合わせた体制を整える
- ③検査研究部門活動の助成金申請を昨年度同様に20研修会申請する。

【広報部】

- ①ホームページのさらなる充実を図る。

【総務部】

1. 会務の執行体制

平成27年度は役員改選期にあたるが、円滑な業務運営を進めるうえで、各種規定・マニュアル等の一部に現状と合わなくなってきた部分もあり、理事会等で議論し運営上支障のないよう改定したい。

また、活動の要である事務局機能は、各県技師会および日臨技との連絡・調整の場として、更なる会員サービスの向上に努めたい。組織強化の面からは、日臨技、北日本支部、新臨技支部、会員各位と協力しながら情報交換を図り、一人でも多くの会員から技師会の意義を感じ取ってもらえる環境・体制を整えたい。

2. 諸会議

1) 理事会・常任理事会

会議の招集、運営が非常に厳しい状況ではあるが、連携を密にするためにも、会議時間の短縮や運営方法を再検討しながら、総会に次ぐ議決機関として年6回の理事会と常任理事会を開催したい。

2) 三役会議・各部会議

諸会議の立案や各種業務内容の検討・調整を図るため、必要に応じて適宜開催する。

3) 各種委員会

本会活動の要としての役割を担っており、本年度も更に活発に運営して行きたい。

災害被災県としての経験を踏まえ、災害支援マニュアルにある災害支援メーリングリストは、災害時の支援活動や会員の安否確認に威力を発揮できるものと期待しており、多くの会員から賛同いただき登録者を増やしていきたい。

4) 日臨技北日本支部医学検査学会

次年度の学会開催予定を控え、開催日、会場、内容等について、理事会で検討していく。

3. 組織対策

1) 臨床検査セミナー

毎年、第1回通常総会と同時開催している臨床検査セミナーは、技師会事業として定着している。

内容も市民公開講座による臨床検査技師のアピールや、臨床検査技師の卒後教育等を企画し自己研鑽の場として今後も積極的に開催していきたい。

2) 各支部との連携

各支部持ち回りの秋の学会運営が定着しており、開催支部の特色を出しながら学術部と支部の連携のもとに多くの会員参加を募り、本会の事業方針の展開と臨床検査の発展を目指したい。

3) 入会対策

益々厳しくなる医療情勢ではあるが、職能団体としての機能をさらに発揮するためには組織拡大と成熟が重要であり、各支部、各施設の理解と協力を得ながら新入会員を確保して行きたい。

また、臨床検査技師の地位向上および職域拡大を進めるためにも、臨床検査技師連盟への入会促進に積極的に働きかけていく。

4. 公益活動（地域保健医療活動）

一般社団法人として更なる県民の保健・医療・公衆衛生の向上と臨床検査技師の社会貢献による知名度向上を目的に、日臨技の事業および学会時の公開講演や健康展、関連職種団体との連携強化を進め、本年度も地域保健医療活動に積極的に参画して行く。

5. 求人情報の提供

求人情報の提供として日臨技への情報登録に留め、会員へは新臨技ニュースやホームページ等で求人情報を提供したい。

6. 表彰関係

1) 篠川至賞

平成27年度で第33回となる篠川至賞は、その制定主旨により、各支部からの推薦者の中より篠川至賞選考委員会の審査を経て表彰されるものであり、会員の励みにもなっている。検査研究部門からも情報協力いただきながら各支部からの積極的な推薦をお願いしたい。

2) 会長表彰

特別功労表彰、永年会員功労表彰は、新臨技表彰規定に基づき、それぞれの基準に該当する者について表彰委員会の審査を経て、毎年の通常総会において表彰する。

3) 生涯教育奨励賞

多くの会員の生涯教育および学術活動への参画と活性化を求めべく、分野に関わらず最多得点者の上位3名を推薦する。

4) 生涯教育新人賞

臨床検査教育の場としての研修会等への参加を通じ、更なる技師会活動への参画に期待し、分野に関わらず20代会員の最多得点修了者を表彰する。

【学術部】

平成27年度活動計画（案）

理事の改選に伴い、学術部活動がスムーズに行える体制を整える。平成28年度開催第5回北日本支部学会開催にむけての準備をつつがなく進める。検査研究部門は日臨技の研究部門にあわせて再編成を行い、県から北日本支部、そして日臨技へ切れ目ない研究部門の活動を行える体制をつくる。例年通り、日臨技の生涯教育推進事業は20研修会の申請を目指し、活動を行う。精度管理は昨年度より、一般検査の内容が追加され、より充実したサーベイを構築していく。

1. 学会

第90回新潟県臨床検査学会を平成27年10月12日（月・祝）に朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターにて開催する。平成28年に新潟市で開催する第5回日臨技北日本支部学会開催に向けた準備を兼ね、平成27-28年度理事、検査研究部門を中心に講演などの企画、運営にあたる。新潟県臨床検査学会において分科会形式が定着し、それぞれの部門では専門性の高い内容の講演会、シンポジウムが開催されている。これに加え部門を超えた多部門合同で、互いに学び合う企画を実施したいと考える。また、一般演題は演題数の伸び悩みに苦慮しているのが実情である。若手技師を中心に学会発表に向けての準備、発表経験の場としてもらえるように検査研究部門中心に発表を促していきたい。

2. 検査研究部門

検査研究部門が行う各種研修会は、技師会において最も重要な活動のひとつである。医療制度や各分野における検査技術は大きく変化し、新たな知識や技術を臨床検査技師が習得していくことは極めて重要である。これらの知識や技術を学ぶ各種研修会の果たす役割は大きい。

これまで検査研究部門は、生物化学分析部門（臨床化学分野、免疫血清分野、染色体・遺伝子分野）、生理機能検査部門（生体機能分野、生体画像分野）、形態検査部門（細胞分野、病理分野、一般検査分野、血液分野）、感染制御部門（微生物分野、疫学・公衆衛生分野）、移植検査部門（輸血・移植分野）、総合管理部門（管理運営分野）の6部門13分野で構成されてきた。しかし、日本臨床検査技師会や北日本支部において学術組織の再編が行われ、各県組織での学術組織のこれに合わせる事が適切と判断されたため、本県においても今年度から検査研究部門の体制を再編して、9部門3分野の体制とする。

新体制は、生物化学分析部門、臨床一般部門、臨床血液部門、臨床微生物部門、輸血細胞治療部門、病理細胞部門、染色体・遺伝子部門、臨床生理部門（神経生理分野、呼吸・循環生理分野、超音波分野）、臨床検査総合部門により構成される。

各部門の活動費は12万円、各分野は8万円とし、当事者負担の原則の下で過剰な負担が及ばない程度の参加費で運営経費を補完する。非会員の研修会参加費は、会員の3倍とし、会員利益と活動費補完をはかる。また、参加は会員優先とし特に人気の高い実習形式研修会では会員に不利益が生じないものとする。

研修会の内容は、若手技師や認定技師等の資格取得教育、最新情報などを考慮して、様々な状況にある会員に有用な情報をバランスよく発信できるような体制を整備する。

技術や知識が複数の分野に係る内容に関しては、複数部門での合同研修会や相互補完研修会を企画する。各研究分野と協力し、系統的な人材育成や生涯教育を行い、魅力ある学術活動を目指したい。研修会の形式は、講演に加えて、実習形式による研修会を推進する。また、日臨技や支部での研修会を伝達する形式での研修会も奨励する。

研究分野や支部との連絡を密に行い、会員が他分野など多くの研修会に参加し、幅広い知識や技術を習得できるよう、研修会開催日の重複を避け、開催地の地域格差を軽減する。

若手技師に対する学会発表や論文執筆などの技術的サポート体制を整備し、県学会や支部学会、全国学会での学会発表、医学検査をはじめとする学術雑誌への論文投稿を推進したい。昨年度は新潟で医学検査学会が開催された。今年度は、ポスト全国学会の年度となるが、新体制の下で活発な学術活動を展開していきたい。

3. 精度管理事業

本事業は新潟県医師会が新潟県から委託を受け、新潟県臨床検査精度管理協議会を設置して推進している事業である。本会としては、会員の技術向上に重要な事業であるという位置づけで本年度も積極的に協力していく。

今年は、委員を新たに選出し、関係専門スタッフで構成し、精度管理委員会を中心に本事業の内容を更に充実、発展させていきたい。また本年度も臨床化学、微生物、血球計算の調査のほかに、昨年より開始した一般フォトサーベイをさらに充実させ実施していきたいと考えている。平成19年度より日臨技データ標準化事業がスタートし、それを踏まえ実施項目を増やし、標準物質が入手可能な項目については随時評価を行ってきたが、本年度もそれらに努めたい。また配送及び梱包方法をより検討し、ミスの無いように実施していきたい。更に日臨技と密に連携をとり、データ報告から施設別報告までスムーズにいくように、システムの改善に努めていきたい。

また、日臨技の「臨床検査室精度保証認証制度」についても今年度は多くの施設が申請を行っていただくように啓発を進めていきたい。

4. 生涯教育

生涯教育研修制度は、臨床検査技師の知識や技術水準の維持・向上を目的とし、会員の自発的な学習を組織的に援助する制度である。会員は定められた履修期間・カリキュラムを基に履修点数を取得する。日臨技情報総合システム（JAMTIS）で管理されており、行事登録や参加者登録は各都道府県技師会で行っている。本年度は役員改選の年ではあるが、マニュアルを基に各検査研究部門・各支部担当者から登録作業を行っていただく予定である。不明な点があれば、県担当理事との連携を密にし、円滑な事業の推進に努めていく。また、ボランティア活動や臨床検査の普及のための啓発活動などに対して生涯教育行事登録を行い、活動を支援していく。

【広報部】

新臨技会誌、新臨技ニュースおよび新臨技ホームページの運営を通して全会員へ向けたレスポンスの良い情報を例年通り安定提供したい。また新たな部門編成に合わせた形でHPを作成し、各種研修会案内の更新をスムーズに更新できるようなシステム作りや、公益活動予定（ボランティア募集含む）さらに新潟県臨床検査学会要綱、一般演題投稿規定等の情報を迅速に対応して会員のニーズにこたえていきたい。県理事、各支部理事および会員全員で情報の共有化を尚一層強化するためにも、新臨技会誌、新臨技ニュース、新臨技ホームページを充実させ、会誌やホームページの充実に熱意を持って取り組んでいきたい。

1) 新臨技会誌

会誌発行は295号から298号までの年4回季刊発行を予定する。〔講義・研究〕は多分野に渡り基礎的内容から技術革新に取り組んだ内容を掲載していきたい。また研修会を受講できなかった会員のための適宜掲載も同時に行ないたい。〔研修会報告〕は参加会員の協力により引き続き掲載し、情報提供や新人会員の研鑽の頁としたい。〔ペンリレー〕〔新入会員紹介〕〔検査技師として～私の思い出～〕などの掲載で会員相互の親睦をはかり、誰もが参加できる企画を増やしていきたい。〔公益活動報告〕を掲載することにより、多くの会員に活動を知っていただき、ボランティア参加への啓蒙ツールとして掲載していきたい。

2) 新臨技ニュース

理事会議事録の掲載を中心に、組織活動、研修会案内、求人情報など速報性のある内容を順次掲載していきたい。読みやすいレイアウトになるように心がけ、今後も広く会員に読まれるよう工夫していきたい。発行は理事会終了後の月1回発行できるよう努めたい。

3) 新臨技ホームページ

新臨技ホームページは、案内・各支部活動・研究班活動の内容がリアルタイムに閲覧できることより、世

代を問わず多くの会員から好評を得ている。引続き事務局との連絡を密にして、県内の会員に情報提供できるよう努めたい。

また、当技師会は、大規模災害時での施設および会員安否確認のため災害時緊急連絡システム（メーリングリスト）を全国に先駆けて構築している。インターネット・インフラの強みが先の大震災で証明され、災害被災県である我が県が、災害支援事業でリーダーシップを発揮し全国を牽引していくためにも、一人でも多くの新臨技会員の登録をお願いしたい。（詳細は県技師会ホームページ参照）

平成27年度収支予算（案）

予算編集に当たって

今回の予算編集は事業収益における助成金収入が減少することや公益目的支出を見込んだ編成を行い、平成27年度の予算編成を行った。昨今の経済状況の低迷により昨年同様、企業合併などによる賛助会員および広告数の減少ならびに、団塊の世代の退職も重なり会員数の減少も懸念されるが、今後も会員数の維持、増加に努めたい。

以下に、予算編成の要点を示し、平成27年度予算の提案としたい。

収入について

1. 受取会費収入：正会員は昨年よりやや増加傾向の1,270名とし、賛助会員は63口とした。
2. 事業収益：会誌広告収入は会員名簿作成があるので増額とした。
3. 助成金収入：日臨技からの助成金が少なくなっていることから減額とした。
4. 雑収入：県学会の賛助会員施設からの協力金は減額とした。

支出について

1. 事業費：検査学会研修費の学会費と運営費は全国学会が終了したことにより減額。
広報費の会誌発行費は会員名簿作成のため増額。
2. 管理費：印刷費は各種研修会の案内が増えているので増額とした。
会議費旅費は北日本支部学会の準備もあり、増額とした。
3. 特定預金支出：篠川至賞積立金を行う。

平成27年度収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

収入の部

大科目	中科目	小科目	平成27年度予算	平成26年度予算	差異	摘要
受取会費			8,245,000	8,175,000	70,000	
		正会員会費	6,985,000	6,875,000	110,000	1,270名
		賛助会員会費	1,260,000	1,300,000	△ 40,000	63社
事業収益			3,700,000	4,040,000	△ 340,000	
		参加費収入	1,500,000	1,900,000	△ 400,000	県学会, 検査研究部門
		会誌広告収入	1,000,000	640,000	360,000	会誌, 名簿広告料
		助成金収入	1,200,000	1,500,000	△ 300,000	日臨技, 県医師会
雑収益			805,000	805,000	0	
		預金利息収入	5,000	5,000	0	
		協賛金収入	800,000	800,000	0	協力金
経常収益計 A			12,750,000	13,020,000	△ 270,000	
前期繰越収支差額			0	0	0	
収入合計 B			12,750,000	13,020,000	△ 270,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	平成27年度予算	平成26年度予算	差異	摘 要
事業費			10,020,000	10,820,000	△ 800,000	
	検査学会研修費		4,620,000	6,020,000	△ 1,400,000	
		学 会 費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000	第90回新潟県臨床検査学会
		運 営 費	1,000,000	1,400,000	△ 400,000	セミナー開催費
		学術部活動費	2,500,000	2,500,000	0	研究部門活動費
		学術雑費	120,000	120,000	0	源泉徴収税等
		負 担 金	0	0	0	
	臨床検査精度保証費		450,000	400,000	50,000	新潟県精度管理事業等
	広報費		4,100,000	3,550,000	550,000	
		会誌発行費	2,800,000	2,300,000	500,000	会誌4号、会員名簿作成
		広報編集費	700,000	650,000	50,000	広報委員会・HP維持管理費
		組織公報費	400,000	400,000	0	各支部公益事業負担
		災害対策費	200,000	200,000	0	
	総会費		250,000	250,000	0	
		準 備 費	150,000	150,000	0	会場費用等
	組織強化費	生涯教育表彰事業費	100,000	100,000	0	賞状作成費等
		支 部 強 化 費	600,000	600,000	0	各支部助成金
管理費			5,480,000	5,280,000	200,000	
	事務費		2,650,000	2,550,000	100,000	
		備 品 費	200,000	200,000	0	パソコンソフト備品等
		消 耗 品 費	100,000	100,000	0	文房具、封筒
		印 刷 費	550,000	450,000	100,000	各種案内
		通 信 費	500,000	500,000	0	案内発送
		交 通 費	350,000	350,000	0	日臨技、東北会議
		渉 外 対 策 費	300,000	300,000	0	関連団体、支部対策
		給 料 手 当	650,000	650,000	0	事務職員
	会議費	旅 費	900,000	800,000	100,000	理事会旅費
	事務所費		1,750,000	1,750,000	0	
		維 持 管 理 費	1,600,000	1,600,000	0	賃貸料、電気代
		電 話 費	120,000	120,000	0	
		事 務 所 雑 費	30,000	30,000	0	
	雑費		180,000	180,000	0	
		交 際 費	150,000	150,000	0	関連団体慶弔費
		雑 費	30,000	30,000	0	
特定預金支出	篠川至賞引当金		1,500,000	1,000,000	500,000	
予備費			650,000	820,000	△ 170,000	
	当期支出合計	C	17,650,000	17,920,000	△ 270,000	
	当期収支差額	A - C	△ 4,900,000	△ 4,900,000	0	
	次期繰越収支差額	B - C	△ 4,900,000	△ 4,900,000	0	

注1：短期借入金限度額 1,000,000円

注2：債務負担額はない

注3：差額は公益目的財産より充当する